



↑ 町内26窯元制作のフリーカップやピエロのラスクなどを記念品として贈呈。



1. 期待を胸に会場に入る新成人たち。2. 町内外から集まった新成人で埋め尽くされたロビー。3. 恩師との再会に少し照れ笑いをのぞかせる新成人。4. 新成人代表として記念品を受け取った生野渉太さん(金田)。5. 町長や来賓が新成人を激励。6. 随所で旧友と再会を喜ぶ声が響いた。7. 昔話に花が咲いた恩師による記念講演。8. 恩師による学生時代の笑話に思わず気が緩んだ。9. 当時に戻ったような感覚が、自然と笑顔を引き出した。10. 個性を生かした晴れ着姿。11. 一生に一度の晴れ姿をカメラに収めるシーン。12. 式典終了後も別れを惜しむかのように人だかりができた会場。



門出を迎えた晴れ着姿の220人

「おとなになったことを自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝いはげます」ことを趣旨として、昭和23年に公布・施行された祝日法のもと、各地で祝われるようになった成人式。本年度の福智町成人式は、1月13日に地域交流センターで開催され、色鮮やかな振り袖や真新しいスーツに身を包んだ220人の新成人たちが、希望や期待を胸に会場へ集いました。式典には浦田町長をはじめ、多くの来賓が新たな門出を祝いに駆けつけ、「若いパワーで夢に向かって進んでください」など、祝福の言葉で新成人を激励。これを受け、代表者の浦田ひかるさん(赤池)が、「私たちはまだまだ社会人としては未熟ですが、自分の信じた道を見失わず、人や自分に嘘をつかず、大人としての自覚を持ち、責任ある社会人として歩んでいきます」と、若者の決意を力強く宣誓しました。

式典終了後、「懐かしいあの頃、現在、そして未来」と題した記念講演が行われ、各小中学校の恩師10人が登壇。当時の笑話を交えながらも、立派に成長した教え子たちの今後に期待し、エールを送りました。

こうして幕を閉じた成人式。この日、身を包んだ晴れ着以上に素敵な表情を見せた新成人たちの横顔は、人生の大きな節目に立った喜びと支えてくれる周囲への感謝の気持ちを心からかみしめているようでした。